

殺菌剤

カナメ[®]フロアブル

インピルフルキサム…………… 37.0%

種類名／インピルフルキサム水和剤
 農林水産省登録／第24265号(住友化学登録)
 毒性／劇物
 有効年限／5年
 包装／125ml×40

特 長

- 幅広い病害に対し安定した防除効果を示します。
 ・中でも担子菌(リゾクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等)やリンゴ黒星病、ナシ黒星病等に対し高い効果を示します。
- 浸達性、浸透移行性を有します。
- 多くの作物で収穫前日まで使用が可能です(詳しくは適用内容をご確認ください)。

適用病害と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法		
か ん き つ	灰色かび病	4000～ 8000倍	200～700 ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	散布		
	黒点病 そうか病	4000倍						
り ん ご	黒星病 すす点病 すす斑病 灰色かび病 斑点落葉病 うどんこ病 褐斑病 黒点病 モニリア病 赤星病							
	な し						黒星病 赤星病	4000～ 8000倍
							黒斑病 胴枯病 輪紋病	4000倍
	も も						灰星病	4000～ 8000倍
							黒星病 果実赤点病 褐さび病 うどんこ病	4000倍
							ネクタリン	灰星病
	小粒核果類						黒星病 すす斑病(うめ) 灰星病	4000倍
おうとう	褐色せん孔病 黒斑病 灰星病							
ぶ どう	黒とう病 さび病 うどんこ病 褐斑病							
	灰色かび病	4000～ 8000倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
いちじく	さび病	4000倍	200～700ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インビルフルキサム剤 3回	散布	
かき	うどんこ病 灰色かび病 落葉病						
麦類 (小麦を除く)	雪腐小粒菌核病	2000～ 4000倍	60～150ℓ	根雪前	本剤 2回 インビルフルキサム剤 4回 〔根雪前は2回、 根雪後は2回〕		
	赤さび病	4000～ 8000倍		収穫7日前まで			
	うどんこ病	4000倍					
小麦	雪腐小粒菌核病	2000～ 4000倍	0.8ℓ	根雪前	本剤 2回 インビルフルキサム剤 5回 〔種子への処理は1回、 根雪前の散布及び 無人航空機散布は 合計2回、根雪後は 2回〕		無人航空機 散布
	赤さび病	4000～ 8000倍		収穫7日前まで			
	うどんこ病	32倍					
にんじん	黒葉枯病 斑点病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インビルフルキサム剤 3回		散布
きゅうり	うどんこ病 菌核病 灰色かび病						
トマト ミニトマト	うどんこ病 褐色輪紋病 灰色かび病 菌核病 白絹病 葉かび病 すすかび病 斑点病						
なす	うどんこ病 菌核病 黒枯病 すすかび病 灰色かび病 褐色斑点病						
ピーマン及び とうがらし類	うどんこ病 灰色かび病						
ブロッコリー	菌核病 黒すす病						
結球あぶらな科 葉菜類(はくさい、 キャベツを除く)	菌核病						
はくさい	菌核病 尻腐病						
キャベツ	菌核病 株腐病						
レタス類	灰色かび病 菌核病 すそ枯病						
さやえんどう	うどんこ病 菌核病 灰色かび病 さび病	1ℓ/株	100～300ℓ	本剤 4回 インビルフルキサム剤 8回 〔散布は4回、株元灌注 は4回〕	株元灌注		
						散布	

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
豆类（種実、ただし、あずき、そらまめ、だいず、らっかせいを除く） 豆类（未成熟、ただし、さやえんどう、未成熟そらまめを除く）	菌核病 灰色かび病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回	散布
	あずき そらまめ 未成熟そらまめ					
だ い ず	白絹病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回	株元散布
	菌核病 灰色かび病					散布
ば れ い し ょ	黒あざ病	400～ 1000倍	—	植付前	本剤 1回 インピルフルキサム剤 4回 〔種いもへの処理は 1回、植付後は3回〕	種いも 瞬間浸漬
	夏疫病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 3回 インピルフルキサム剤 4回 〔種いもへの処理は 1回、植付後は3回〕	散布
やまのいも	青かび病	200倍	—	植付前	本剤 1回 インピルフルキサム剤 1回	種いも 瞬間浸漬
た ま ね ぎ	灰色かび病 小菌核病	4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回	散布
	灰色腐敗病	4000～ 8000倍				無人航空機 散布
に ん に く	灰色かび病 小菌核病 灰色腐敗病	64倍	1.6ℓ	収穫前日まで	本剤 2回 インピルフルキサム剤 4回 〔散布は2回、株元散布 は2回〕	散布
	さび病 葉枯病	4000倍	100～300ℓ			株元散布
ね ぎ	さび病	4000～ 8000倍		100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回
	白絹病	4000倍	株元散布			
い ち こ	黒腐菌核病		4000倍	100～300ℓ	収穫前日まで	本剤 4回 インピルフルキサム剤 4回
	黒腐菌核病 小菌核病 黒斑病 白絹病 葉枯病					
き く	うどんこ病 灰色かび病	4000～ 8000倍	—	発病初期	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	散布

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
チューリップ	皮膚病 葉腐病	100～ 200倍	—	植付前	本剤 1回 インピルフルキサム剤 4回 [球根への処理は1回、 植付後は3回]	15分間 球根浸漬
	皮膚病	2000倍	100～300 ℓ	発病前	本剤 3回 インピルフルキサム剤 4回 [球根への処理は1回、 植付後は3回]	散布
りんどう	葉枯病 花腐菌核病	4000倍		発病初期	本剤 3回 インピルフルキサム剤 3回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。



- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■毒



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。かかった場合3日間は給桑しないでください。無人航空機による散布で使用する場合は、給桑しないでください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。



- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入るようにしてください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、鍵のかかるなるべく低温な場所に保管してください。